

第80期 中間報告書

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日

心 ひろがる技術

mitsuba

株式会社 ミツバ

証券コード：7280

Topics

トピックス

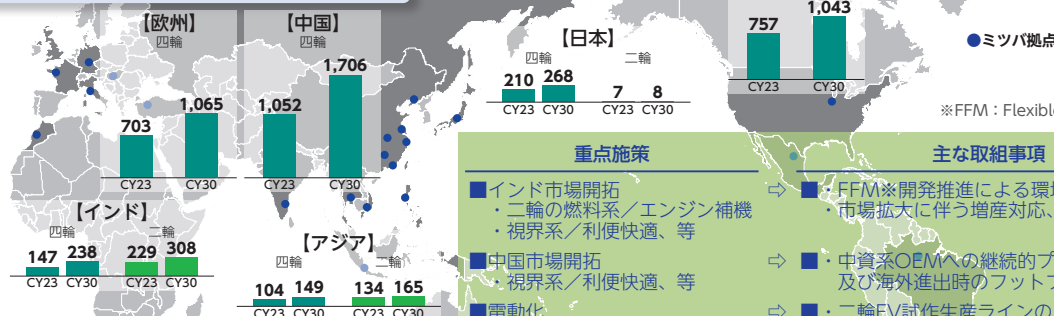
中期計画の実現に向けて（製品領域）

車載モーターは自動車の電動化によって、地域ごとに時間差を持ちながら増加する。

グローバルの供給体制を構築してきた優位性（フットプリント、顧客、等）を強みとして、事業を拡大する。

四輪 CY30 … 53億個（CY22比1.7倍） 二輪 CY30 … 7億個（CY22比1.2倍）

地域別車載モーター需要（単位：百万個）



出所：
（四輪）矢野経済研究所「車載モータ市場の最新動向と将来展望 2023」
（二輪）販売計画、その他データより算出

※FFM：Flexible-Fuel-Motorcycle

重点施策

- インド市場開拓
・ 二輪の燃料系／エンジン補機
・ 視界系／利便快適、等
- 中国市場開拓
・ 視界系／利便快適、等
- 電動化
・ 二輪EV／熱マネジメント
- 顧客ポートフォリオ変革

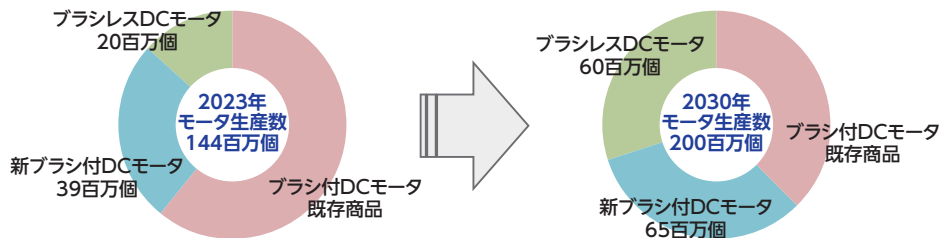
主な取組事項

- ⇒ FFM※開発推進による環境対応
・ 市場拡大に伴う増産対応、及び参入拡大
- ⇒ 中資系OEMへの継続的プレゼン
及び海外進出時のフットプリント活用
- ⇒ 二輪EV試作生産ラインのインド構築
・ 電動車用ブラシレスファンモータ開発
- ⇒ 成長安定性あるOEMへの参入拡大

小型軽量・高効率モータによるCN（カーボンニュートラル）への貢献

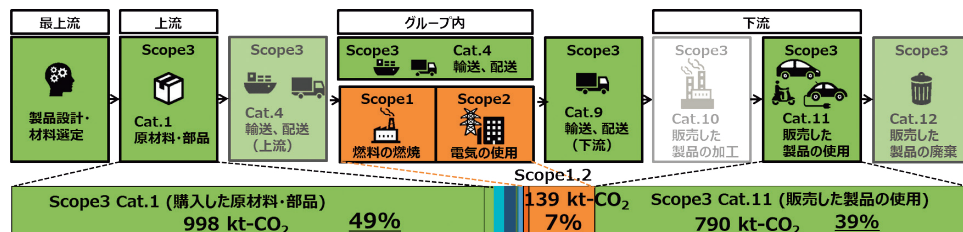
増大する車載モータニーズに対し、小型軽量・高効率な新製品を拡大することで、素材使用量及び製品使用段階（Scope3）でのCO₂排出量の削減に取り組んでいます。また、電動化（xEV）・FFM※に対応した新製品提供により、CN実現に貢献していきます。

※FFM：Flexible-Fuel-Motorcycle



2023年度 ミツバグループScope1,2,3 CO₂総排出量：2,000kt-CO₂

※日本部品工業会 LC1算出ガイドライン 環境負荷算出用データ表を基に試算



ブラシレスDCモータ

- ・ 制御ワイパー
- ・ サンルーフモータ
- ・ ブラシレスファン
- ・ EPS
- ・ 電動オイルポンプ
- ・ 2輪燃料ポンプ
- ・ 2輪駆動システム
- ・ その他

新ブラシ付DCモータ

- 小型軽量・高効率
- ・ RRワイパ
- ・ パワーウインドモータ
- ・ シートモータ
- FFM※対応
- ・ 2輪燃料ポンプ

ライフサイクルで
モータ1個あたりの
CO₂総排出量を
平均25%削減

株主の皆様へ

当中間連結会計期間における世界経済は、貿易の回復を背景に全体的には緩やかな成長が見られましたが、米国経済の堅調さや新興国での成長鈍化など、地域間の格差もありました。また、物価上昇は落ち着きつつあるものの、地政学リスクなどの不確実な要素は依然として残っております。

当社グループが関連する自動車業界では、半導体不足やサプライチェーンの混乱が徐々に解消され、生産が回復基調となりました。一方で、電動化のみならずAI化も加速し、業界構造の変化が進行しております。

このような状況の下、当社グループにおいては、中期経営計画（2023年度-2027年度）の2年目となり、重点施策である「モビリティ進化への対応」「経営基盤の強化」「財務体質の健全化」を、計画達成に向け引き続き推進しております。

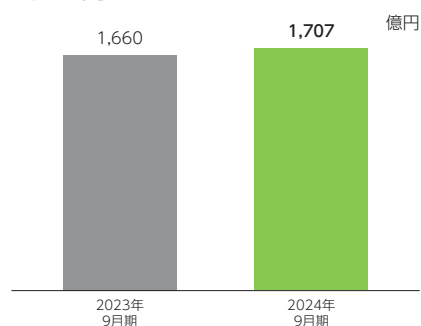
当中間連結会計期間の連結業績は、価格改善の推進とアジアエリアにおける二輪事業の販売好調に加え、円安に伴う為替影響により、連結売上高は170,730百万円（前年同期比2.8%増）となり、連結営業利益は10,265百万円（前年同期比47.1%増）となりました。また、連結経常利益は8,784百万円（前年同期比2.9%増）となり、子会社株式売却益など特別利益が527百万円発生したことから、親会社株主に帰属する中間純利益は、6,780百万円（前年同期比50.3%増）となりました。

取締役社長 日野 貞実

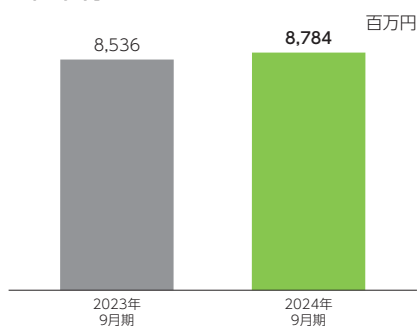


■ 連結財務ハイライト

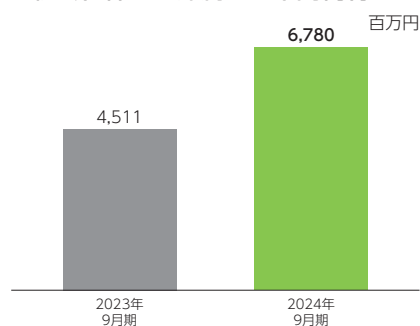
■ 売上高



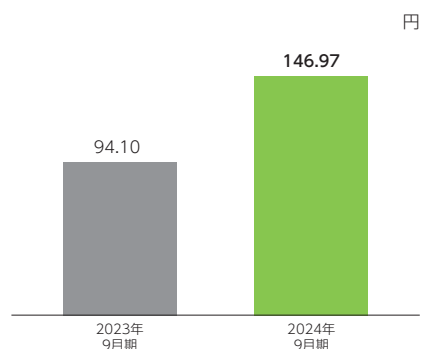
■ 経常利益



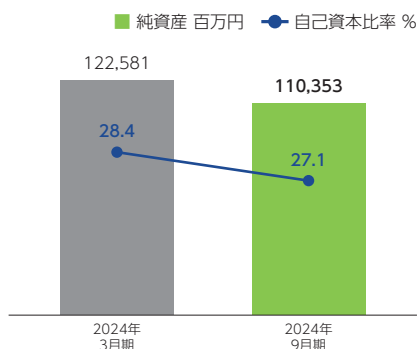
■ 親会社株主に帰属する中間純利益



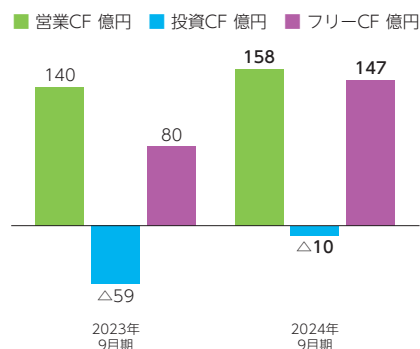
■ 1株当たり中間純利益



■ 純資産



■ キャッシュ・フロー



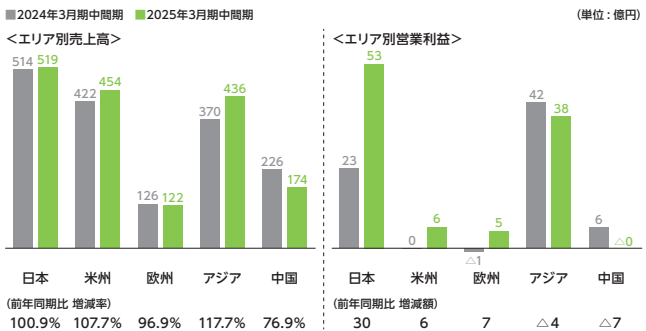
セグメント別業績

	2024年3月期 中間期			2025年3月期 中間期			(単位：億円)	
	売上高	営業利益 (A)	営業 利益率	売上高	営業利益 (A)	営業 利益率	増減額 (A-B)	増減率 (A/B)
輸送用機器関連事業	1,561	59	3.8%	1,600	91	5.7%	32	154.6%
情報サービス事業	75	8	10.9%	76	6	8.4%	△1	77.5%
その他事業	22	1	8.9%	30	4	13.9%	2	2.1倍
調整額	—	0	—	—	0	—	0	—
合 計	1,660	69	4.2%	1,707	102	6.0%	32	147.1%

輸送用機器関連事業	・四輪…価格改善の推進および円安の影響により増収・増益 ・二輪…アジアエリアは前期に続き、販売好調を維持
情報サービス事業	・車載系組込ソフトウェア開発支援業務、製造業向けAMOサービスなどのITエンジニアリングサービスなどが堅調に推移するも、新規稼働したデータセンターによる減価償却費の増加で増収・減益

エリア別業績

日本エリアは拠点間収益の適正化および価格改善の推進により増収・増益。
米州エリアは主要顧客の車両生産台数の増加と価格改善により増収・増益。
欧州エリアは価格改善等により黒字転換。
中国エリアは固定費削減を図るも日系自動車メーカーの減産影響を吸収できず営業赤字。



連結業績予想などの将来予測情報について

2025年3月期通期につきましては、第3四半期以降における主要顧客の生産・販売動向などにより、売上高が前回発表の通期業績予想に対し減少の見通しとなりました。

この結果を踏まえ、2024年8月7日に公表いたしました2025年3月期通期連結業績予想を修正しております。

業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

寄付に関するご報告

当社では、株主優待制度を通じ、日本赤十字社の海外救済金への寄付活動を行っております。本年度は446名の株主さまのご賛同をいただき、516,500円を寄付させていただきました。株主さまには厚く御礼申し上げるとともに、引き続き社会貢献活動に取り組んでまいります。

※寄付金は海外で大規模な災害や紛争などの緊急事態が発生した際に、被災地の赤十字社や日本赤十字社が現地で実施する救援活動・復興支援活動を支援するための海外救済金に役立てられます。

株式に関するお手続き

証券会社の口座に記録された株式

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
単元未満株式の買取・買増請求 配当金の受領方法・振込先のご変更 届出住所・姓名などのご変更 マイナンバーに関するお届出・お問い合わせ	口座を開設されている証券会社	
郵送物の発送と返戻に関するご照会 株式実務一般に関するお問い合わせ 支払期間経過後の配当金に関するご照会	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711（通話料無料） https://www.tr.mufig.jp/daikou/

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
単元未満株式の買取・買増請求 配当金の受領方法・振込先のご変更 届出住所・姓名などのご変更 マイナンバーに関するお届出・お問い合わせ 特別口座から証券口座への振替請求	特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711（通話料無料） https://www.tr.mufig.jp/daikou/
郵送物の発送と返戻に関するご照会 株式実務一般に関するお問い合わせ 支払期間経過後の配当金に関するご照会	株主名簿管理	

「株主総会資料」書面をご希望の場合は、お手続きが必要です。

株主総会資料の電子提供制度が開始されたことに伴い、2025年の当社株主総会資料を書面でお受け取りをご希望される場合は、2025年3月31日までにお取引のある証券会社又は上記株主名簿管理人を通じて、「書面交付請求」のお手続きをお取りいただく必要がございます。